

録

年
月
日

独立混成歩三四旅団兵隊

陸軍少佐

山口松輔

年月日	概要
昭八 二 二 六	<p>編成完結状況 編成地及び同担任部隊 東京都近衛野砲兵中二連隊補充隊 編成下令及び完結 編成下令</p>
昭八 二 三 八	<p>素直 部隊長を除き応召者にして、山砲、野砲、野重、高射砲等各種出身を混成せり 行動の概要及び其の日時</p>
昭八 二 三 七	<p>輸送 馬匹及び一部を残置、東京都出発 門司到着</p>
昭八 二 三 三	<p>門司港出発 揚子江口通過</p>
昭八 二 三 二	<p>南京上陸</p>

(5/6)

0526

年 月 日	概 要
昭 元 二 二	南京郊外念路口に於て、輸送待機す
二 三	南京出発
二 三	上海到着
二 七	一部独立歩兵カ一八九大隊に配属主カは上海出発、台湾基隆高尾を経て
三 四	仏印西貢上陸
三 二	中部仏印「ローラン」到着、同地附近の警備
四 九	独立歩兵カ一八九大隊配属の一小隊本隊進及到着
四 六	内地残留者は金馬匹を保管取換の上、東京都出発
五 三	門司港出発
五 五	昭南上陸
六 三	本隊へ到着
	砲兵隊の集結を完了す
	警備
三 二	「ローラン」到着、以後旅団主カと共に、同地の警備及び訓練従事するの外、
	鐵道防空に任ず
	戦闘
	明号作戦参加
五 三 五	部隊を左の如く配属す

(571)

0527

年月日	概	要
六 高	六 高	砲兵隊本部は「シーラン」地区隊となり、独立歩兵六七二大隊（一中隊又）を指揮するの外、数個の部隊 区署「ツौरラン」地区の仏印軍処理及び治安警備に任ず 次期作戦準備 以降、独立歩兵六七二大隊の主力は、配属を解かれ、一中隊を残置配属せらる
六 高	六 高	より遂次次期作戦の為「ツौरラン」地区の警備を独立歩兵六七二大隊の一部に移譲し老福州「サバメケ」ト「チヤホ」に転進旅団派遣隊となり、諸隊の一部を指揮し作戦準備に任ず 停戦及び復員 停戦証書発布
八 五	八 五	「ツौरラン」に集結を完了す
九 五	九 五	より中国軍に依り、兵器資材等の接收を開始下旬完了す
三 六	三 六	無船の為「ツौरラン」出港
三 六	三 六	海防に集結を完了す

(5/8)

0528

年月日	概	要
四三	内地厭葦の懸、海防出発	
四三	名石屋港上陸	
四三	戦務整理者を除き、将校以下三〇八名復員	
三五一	全部の復員を完了す	
	兵力	
	将校以下 三六〇名（三三四名） 但し（ ）内は終戦時	
	馬匹 一〇〇頭	
	火炮 九四式 山砲八門	
	入院患者 一九名（復員終了時）	
	生死不明 二名	
	死亡 六名	
	其他	
	<p>鑛坑馬は全部内地に於て、保管取換、現地に於て、病馬廠より一部の日本馬を 受領するの外、現地馬に依り駄馬編成をなす 将校以下七〇名を中国第一方面軍中一八四隊に配属す</p>	